



2014年6月23日

**多くのリスナーの声に応じて、
休止予定のクラシックステーション OTTAVA (オッターヴァ) を承継。
ナクソス・ジャパン(株)がサービスを継続！**

OTTAVA

この度、ナクソス・ジャパン株式会社(東京都世田谷区、代表取締役社長 佐々木隆一)は、TBS が運営してきたクラシック専門のインターネットラジオ局 OTTAVA の商標・ドメインを譲り受け、今後、当社が中心となって、OTTAVA の運営会社を設立。サービスを継続していくことになりましたので、お知らせいたします。

OTTAVA は、2007年4月、TBS が、デジタルラジオの実用化試験放送の1チャンネルとして開局。同時に、インターネットでのストリーミング配信をスタートさせました。パソコンやスマートフォンを通じて、約20万人のリスナーにお聴きいただいておりますが、昨年、TBS は、デジタルラジオへの不参入を決定。これまで取り組んできたデジタルラジオの実現に向けた施策を一旦見直すこととし、本年4月1日、OTTAVA も、6月末での休止を発表いたしました。

休止発表後、多くのリスナーやクラシック業界から継続を望む声が上がリ、クラシック音楽を広めたいという志の下、OTTAVA に参集しているプレゼンター(出演者)も、その声に応えたいという想いを日増しに強めていました。そうしたリスナーの声やプレゼンターの想いは、OTTAVA の音源調達先である当社にも届き、同じクラシック音楽を生業としている者として、OTTAVA の継続を支援することを決めました。TBS も、リスナーの保護につながる、当社からの提案を高く評価。結果、スムーズな商標・ドメインの譲渡に至りました。

7月1日からは、ナクソス・ジャパン株式会社が OTTAVA のホームページをそのまま引継ぎ、OTTAVA プレゼンター陣と共に24時間のストリーミング配信を継続させます。その後、OTTAVA が提案しているクラシック音楽の世界をマネタイズできる複数の事業者と OTTAVA の運営会社を設立。10月には、新番組を編成し、ホームページ内でのコンテンツ販売、有料配信等を開始。新しい OTTAVA としての本格的なサービスインを予定しています。

■ OTTAVA (<http://ottava.jp/>) について

1992年にイギリスで開局した「クラシックFM」の成功後、世界中のラジオ局に広まっているコンテンポラリー・クラシック・ステーションの日本版。総じて尺の長いクラシック音楽を楽章単位で短くオンエアするポップな編成スタイル。「クラシックFM」は、BBCラジオのクラシックチャンネル凌ぐ全英NO.1ステーション。音楽ジャーナリスト、音楽プロデューサー、雑誌編集者、ミュージシャン等の多彩なプレゼンターをラインナップした生ワイド番組とノンストップDJミックスゾーンからなる24時間編成。パソコンやスマホで無料聴取できる。月間ユニークユーザー20万人以上。

【本件に関するお問い合わせ】

ナクソス・ジャパン株式会社 TEL: 03-5486-5101 (代表) MAIL: info@naxos.jp 担当: 長野

Facebook : <https://www.facebook.com/NaxosJapan> Twitter : <https://twitter.com/naxosjapan>

■ナクソス・ジャパン株式会社 概要

世界的音楽レーベル「ナクソス (NAXOS)」の音源を管理する Naxos Global Distribution, Inc.

(代表 : Klaus Heymann、本社 : 香港) の日本国内での本格的な事業化に伴い、2005 年 7 月、音楽配信サービスを主体とした「ナクソス・デジタル・ジャパン」を設立。2007 年、社名を「ナクソス・ジャパン」に変更し、音楽ソフト事業を含めた総合音楽企業として新たなスタートを切る。

商号 :	ナクソス・ジャパン株式会社		
設立 :	2005 年 7 月 7 日		
資本金 :	20,000,000 円		
役員 :	取締役会長	Klaus Heinz Heyman	
	代表取締役社長 兼 CEO	佐々木隆一	
	取締役 兼 COO	白柳龍一	
所在地 :	東京都世田谷区三軒茶屋 2-2-16 YK ビル 8F		
電話 :	03-5486-5101		
ファックス :	03-5486-5104		
事業内容 :	CD/DVD の制作及びディストリビューション、オンライン音楽図書館、音楽配信事業、ライセンス事業など		
ホームページ :	http://naxos.jp		

■ナクソス (NAXOS) レーベル 概要

クラシック、ジャズなどの膨大な音楽コンテンツを保有するレーベル。自らも熱烈なクラシック音楽愛好家であったクラウス・ハイマン(香港在住のドイツ人実業家)によって 1987 年、「価値合理性」と「消費者本位」を理念にスタート。既存メジャー・レーベルのスター主義では実現できない知られざる名曲の体系的な商品化 (=カタログ主義) が大きな反響を呼び、世界中に熱烈な支持者を生み、グラミー賞でも数々の受賞歴を持つ。